

まきは通信

第25号

日本基督教団

愛知老人コミュニティーセンター

〒470-0111 日進市米野木町南山987-88

TEL. 0561-74-5548

FAX. 0561-74-5561

ホームページ <http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba>

E-mail makiba@mb.ccnw.ne.jp

発行日 2014年9月26日

発行人 鈴木 卓也

福祉の道40年を振り返って この道より 我を生かす道なし

十字の園 理事長 平井 章
愛知老人コミュニティーセンター運営委員



「この道より 我を生かす道なし この道を歩く」とは武者小路実篤の名言です。大学を卒業してから5年働いた楽器会社を辞して、1975年、27歳の時に十字の園に就職しました。振り返ってみればあれから40年、多くの素晴らしい先輩に出会い育てられて福祉の道を歩むことができました。

聖隷福祉事業団の創設者である長谷川保は、青年時代に「イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。(ヨハネの手紙 I 3章16節)」の御言葉に触発され、命がけで結核患者救済の仕事を始めました。戦後間もない頃、日本の復興のために来日したディアコニッセ・ハニ・ウォルフは、寝たきり老人との出会いから老人ホーム建設を使命として日本で最初の特別養護老人ホームを創りました。十字の園の初代理事長鈴木生二は、信仰によってアブラハムが「行く先も知らず出発した」ように、聖隷を離れ浜松十字の園に、そして御殿場、伊豆へと主に示された高齢者福祉の道を走り続けました。

私は、1975年に事務職員として御殿場十字の園で働き始めました。1週間後に長女が生まれ、その年のクリスマスに受洗しました。御殿場で6年、伊豆高原で4年、浜松の特養と法人で8年事務職で働き、1993年にケアハウス施設長、1996年から法人事務局長、1999年に理事長(特別養護老人ホーム施設長兼務)に就任し16年が経ちました。

私的には、次女が知的に障がいがあり、その関係で特別支援学校のPTA会長をしたり、障がい者の働くパン屋さんを親同士で20年運営したり、日本キリ

スト教社会事業同盟という団体の総幹事(事務局長)、静岡県給食協会の会長、他団体の理事・評議員・監事なども担うようになっています。

自分の「器」を考えると、今の自分の存在が不思議です。分不相応と思いながらも、頼まれるとイヤと云えず、精一杯工夫してしまうので、それぞれの場で重宝に用いられているようです。人それぞれに人生という「道」を歩いていますが、振り返るとそこには一筋の道が見えます。

♪わが行く道 いついかに、
なるべきかは つゆ知らねど
主はみこころ なしたまわん♪
そなえたもう 主の道を、
踏みて行かん ひとすじに♪ (讚美歌494番)

私にとって「この道より我を生かす道なし」だったのでしょ。私の道はまだまだ続きます。これからも「この道を歩く」ことでしょう。



▲愛知牧場のコスモス畑と大十字架

地域職員交流会『ぶどうの会』を紹介します。

シルバーホーム「まきば」看護師・介護支援専門員 町田 容子

日進市米野木町南山にある広大な愛知牧場の北に隣接する施設群を、私たちは親しみを込めて「南山医療福祉ゾーン」と呼んでいます。そして近隣の皆様からは、その役割に大きな期待を寄せられ、地域の大切な役割を担っています。一つひとつの施設は、医療法人・社会福祉法人・財団法人・宗教法人・有限会社とそれぞれ個々に経営責任を担っていますが、地域の皆様からはひとつの共同体とされているようです。

この地域ニーズに応えられるようにと、施設の枠を越え、共に学び合い、想いを共有していくために、職員が主体になって2004年11月、「近隣施設交流会」を立ち上げました。その後、南山教会、愛知牧場とも交流を持ち、医療・福祉の分野を越えて地域の協力体制が確立しました。

今号では、この職員の自発的な学びの集い「ぶどうの会」の活動を紹介します。



参加法人(施設)

1. 宗教法人 日本キリスト教団 (愛知老人コミュニティーセンター)
施設: シルバーホーム「まきば」(有料老人ホーム)
2. 医療法人 財団愛泉会
施設: 愛知国際病院 (一般病棟、ホスピス病棟)
施設: 愛泉館 (老人保健施設) (居宅介護支援事業所)
施設: 日進市東部地域包括支援センター (日進市委託事業)
3. 社会福祉法人 愛知三愛福祉会
施設: のぞみ (特別養護老人ホーム) (ショートステイ)
施設: さんあい (デイサービス) (居宅介護支援事業所)
施設: あいわ (グループホーム)
4. 公益財団法人 アジア保健研修所
(アジアの無医村の人々の健康を守るNGO団体)
5. 有限会社 みなみやま調剤薬局
(協力会員) 有限会社 愛知兄弟社 (愛知牧場)
宗教法人 日本キリスト教団 南山教会

名前の由来

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」 ヨハネによる福音書 15章5節

特別養護老人ホーム「のぞみ」でボランティア活動をしている「愛実の会」代表の島しづ子牧師によって命名されました。

キリスト教の精神を基本理念として運営している施設群なので、聖書から取るのが一番自然だということ、ぶどうの枝の広がりから、次第に事業所が増えて、地域に根付いて広がって行く南山医療福祉ゾーンをイメージできるのではないかと考えました。

また日進市周辺は葡萄の産地でもあります。今、記念樹として葡萄の木を植えようと話し合っているところです。



プログラム

■勉強会「地域を知る」

すぐ隣にありながら、他の施設の働きをよく知らないという問題がありました。職員が相互の目的やその長所を知ってお互いに連携して行くことを目標に、各施設の理事長や施設長から創立の理念や現状の働きを学び、施設見学会を持ちました。医療・福祉の分野にとどまらず、南山教会や愛知牧場にも伺って、その働きについて勉強しました。

各施設の職員は、自分の施設だけでなく、この地域を知ることによって一層各施設の理念を尊重することができるようになりました。



▲勉強会

■研修会

「認知症サポーター養成講座」や「ターミナル時における精神ケア」など、この地域ならではの豊かな人材に講師を依頼して贅沢な研修プログラムを組んでいます。



▲研修会のテキスト

◀講師の篠田先生

■防災協力

緊急災害時には、各施設が持つ資源を有効に活用しながらいかに協力していくかという問題と、それぞれの施設が地域社会から期待されている問題を把握しながら対策を協議しています。

日進消防署などに講師を依頼して勉強会を開き、態勢づくりを進めています。

■社会貢献

アジア保健研修所に来る海外研修生を囲んで、貧困に対応するための環境整備や改善策などをグローバルな視野で学んでいます。また、献血運動への参加や東日本大震災復興支援など地道な活動にも取り組んでいます。



▲献血に協力



■施設交流会

各施設対抗ボーリング大会は、毎年恒例になりました。ちなみに昨年は「まきば」が団体戦、個人戦ともに初優勝を飾りました。



◀ボーリング大会



▲大会優勝盾とまきばチーム

■礼拝

クリスマスの時期には、「まきば」礼拝室に各施設の職員が集まってクリスマス礼拝を持ちます。説教は地域施設の一つである南山教会の牧師・伝道師先生が奉仕して下さいます。またその後には食堂に場所を移して、夕食を共にしながらの近況報告会や懇親の時を過ごします。



◀クリスマス礼拝



▲クリスマス祝会

■担当者会議

毎月1回、各施設から1名ずつ参加して定例担当者会議を開催しています。「ぶどうの会」のさらなる発展と地域施設職員のより深い交流を願って、新しい企画立案と準備を進めています。

「まきば」の職員は何故長続きするのか？

今、介護職員の離職率の高さが社会問題になっています。何故、介護の職場は嫌われるのか？介護は3Kの仕事と言われて来ました。若者から嫌われて、東南アジアから介護職員を迎えようという動きが進んでいます。団塊の世代が要介護になる10年後、20年後には誰が介護を担うのでしょうか？ シルバーホーム「まきば」は、もう4年半もの間、介護職員から一人の退職者も出していません。これは介護業界関係者の中でも信じられない程の特別なことなのです。

何故「まきば」は職員が長続きするのか？ 今号では、この疑問に答えるべく、長く「まきば」の介護に携わって来た職員に話を聞いてみました。



ゆとりある介護

介護福祉士・介護リーダー
野中 江里子
(勤続13年7ヶ月)



見学に来てくださったお客様に、施設をご案内することがあります。その際「ゆったりしてますね」とか「職員の数が多いですね」という感想を伺うことがあります。「まきば」では、介護の必要な方に対する介護・看護職員の比率が高く、介護保険事業者として求められている基準の倍以上の数の職員で対応しています。「ゆったり」した印象を持たれる背景には、この職員比率の高さがあると思います。

「まきば」でも、設立から数年の間、職員の定着率が低い時期がありました。2002年11月に発行された「まきば通信 第2号」を見ますと、ご入居者の声として「職員の定着率が低くて心配だ」という指摘がありました。それから12年が経ち、今では介護職員の定着率は大きく向上しました。喜ばしいことです。

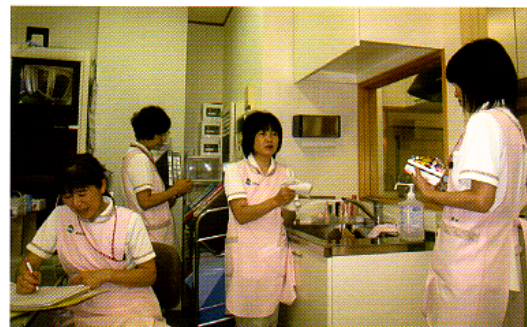
現在12名の介護職員が働いていますが、10年以上勤務している者が5名、5年以上勤務している者が5名います。残りの2人も間もなく5年を迎えます。職員がより長く勤務し続けるということは、経験が蓄積され、仕事に安定感がもたらされるとと思います。ここで長く生活しておられる皆様にも、安心感を持って過ごして

いただけることとなります。とりわけ環境の変化に対する負荷が大きいといわれる認知症の方にとっても、馴染みの職員が介護することの大切さを日々感じています。

職員の定着率が向上した大きな理由は、職員比率の高さから来る「ゆとり」だと思います。「ゆとり」のある介護は、お一人お一人に丁寧に対応することができますし、介護職員自身が納得できる介護を提供することが可能になります。そこから、職員とご入居者、また職員相互の良い人間関係が生まれ、「ゆとり」が生み出す働きやすさにつながり、定着率が上がったのではないかと思います。この恵まれた条件を生かして、さらに良い介護の提供、良い職場づくりを目指して行きたいと思えます。



▲月例介護スタッフミーティング



▲現場ミーティング



主が共に歩んでくださった10年

介護福祉士・生活相談員
三和田 良子
(勤続10年1ヶ月)



介護資格を取った研修先で「52才からの施設勤務は難しい」と言われながら「まきば」に迎えられました。失敗をして、このまま「まきば」に留まっていた方がいいのだろうかと心配したり、ご入居者との人間関係がうまく築けずに悩んだりした日々がありました。ここに至る迄、やさしく見守って下さった仲間や入居者の皆様、相談に乗って下さった隠退牧師の先生方に深く感謝しています。



▲ゲーム

♪みめぐみゆたけき 主の手にひかれて、
この世の旅路を あゆむぞうれしき。
たえなるみめぐみ 日に日にうけつつ、
みあとを行くこそ こよなきさちなれ。♪

毎週金曜日に行われる礼拝・聖書の集いの今日の讚美歌でした。司会を担当しながら神の迫りに声を詰まらせ、続けられなくなったことが何度もありました。最近つくづく感じますのは、「創造主なる神・十字架による贖い・救い・御国の希望」、この世界観を共有しながら毎日を過ごすことができる幸いです。「実に、神の国はあなたがたのあいだにある」。アーメンです。

これから先、どんな苦しみの時も、どんな悲しみの時も、主が共にいてくださるこの施設で、ひとの喜びに関わることができる介護と言う仕事に夢を持って、少しでも長く働いて行くことができるようにと祈っています。



▲歩行訓練

快適な居住空間を産み出す楽しさ

介護福祉士
野村 麻由美
(勤続13年2ヶ月)



「まきば」に入居される方のほとんどは、ご自分で生活ができるお元気な方です。今まで使ってきた日用品や思い出の品物、家具などをお持ちいただいて、これまで通りの生活を維持できるところがこのホームの良いところだと思います。毎日暮らす家だから快適なプライベート空間、心地よい生活空間は大切です。

共用スペースや庭には、入居される皆様と職員が育てた花がいっぱい咲いていて、自立されている方にも介護の必要な方にも、四季を感じて楽し

んでいただいています。ご家族や見学に来られた方から「清潔で明るいホームですね」と言っていただけることが何よりの喜びです。

清潔な空間の中で、温かみのある介護サービスができるようにと心掛けながら「皆様が笑顔で安心して生活するためのお手伝いを続けて行けたら嬉しいな」と思います。そして、ご家族がいつでも気軽にお越しいただけるホームを目指して、毎日を楽しんでいます。



▲口腔ケア



▲まきば合唱団



▲看護スタッフ



▲食事介助

まきばトピックス

このページは、日本キリスト教団愛知老人コミュニティーセンターが運営する有料老人ホーム、シルバーホーム「まきば」でおこなわれた行事や出来事を紹介するコーナーです。

看護師が受洗しました

6月29日、「まきば」の看護師・野村明子さんが、長久手ぶどうの木教会で洗礼を受けました。

洗礼式は豊田市の川へ行って、浸礼でおこなわれました。「まきば」からも代表が参加して喜びを共にしました。



洗礼を受けて……

看護師の野村明子です。教会に通い始めてから1年になりますが、この度、受洗にまでたどり着くことができました。ここまで導いてくださいました米田牧師さんご夫妻に感謝しています。「まきば」の仲間からも、入居の皆様からも、多くの祝福をいただき感謝です。

川での洗礼式はちょっと冷たかったけど、暑い日だったのでラッキーでした。これからも、主の導きのままに、長く信仰生活を送っていきたく願っています。皆様よろしくお祈りします。

南山教会に新しい牧師と伝道師が就任しました

「まきば」の礼拝や「聖書の集い」などで10年に亘って奉仕を続けてくださいました大島純男牧師が隠退され、3年の間助けてくださいました西岡知洋伝道師が主任牧師として静岡県に赴任されました。

変わって4月から、村山盛芳牧師と内山友也伝道師が着任されました。「まきば」から一番近い教会の牧会者として、すでに様々な形でご協力いただいています。

村山盛芳 牧師▶



▲内山友也 伝道師



召天者記念礼拝をおこないました

召天者記念礼拝が2年ぶりに行われました。

当日は57人のご家族がお越し下さり、これまでに召された先人たちを偲びながら、村山先生の説教で厳粛の内に礼拝が執り行われました。



花の日礼拝・ペンテコステ礼拝がありました

今年は、花の日とペンテコステが同じ日になり、毎年花の日に来訪して「まきば」礼拝室で礼拝を守っている名古屋中村教会の皆様がお越しくださいました。

礼拝の後、「まきば」の庭にたくさんの花を植えてくださいました。「まきば」の庭が、一段と華やかに変身しました。



国際キリスト者医科連盟が来訪しました

第2回国際キリスト者医科連盟東アジア部会カンファレンスが、日進市のトヨタ研修センターを会場に開催されました。その一環として、日本の老人福祉を学ぶため、中国、台湾、韓国、日本の医師50人が「まきば」を見学に訪れました。

説明、見学の後、「尊厳を守る介護の具体例」や「先進的な施設運営のノウハウ」といった専門的な質問が熱心に飛び交いました。



▲台湾医師グループ説明会



▲中国医師グループによる施設見学

日韓青少年親善ツアーが来訪しました

8月7日、ソウルにある韓信教会の小学生・中学生・高校生32人が、「まきば」を見学に訪れました。

当日は、アジア保健研修所、南山教会、愛知牧場を見学後、「まきば」で昼食を取り、日本の高齢化問題や信仰を守る介護のあり方について熱心に学び、施設を見学して帰りました。

韓国青少年親善ツアーの施設見学▶



■愛知老人コミュニティセンターへの献金報告

| 献金者芳名 (2013年4月1日～2014年3月31日) | | |
|------------------------------|---|----------------|
| 教会福祉献金 | (匿名) 8名様 | 金額 56,500,000円 |
| センター 維持献金 | 愛北教会様、名古屋中村教会様、御器所教会様、刈谷教会様、愛知東地区教師会様、下村徹嗣様、真木芳子様、三澤克己様、篠田 潔様、鈴木卓也様、尾関静枝様、名古屋学院一麦会様、岡崎教会様、岡崎教会泉の会様、広路教会様、飛騨高山教会様、中部学院大学 宗教委員会様、福野伝道所様、深谷佐和子様、御器所教会 教会学校様、児島重子様、増岡道代様、山田ユキ様、他匿名 5名様、施設内礼拝・聖書集会での献金 23口 | 金額 503,980円 |
| | | 合計 57,003,980円 |

入居者募集

日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター
silver home



まきば

見学や体験入居もできます(要予約)



シルバーホーム「まきば」と共に祈りの生活を……
広い牧場を臨み、近くに愛知池があり、
緑豊かな自然に包まれて暮らす…
真向かいに病院があり、牧場をはさんで
教会もあります。

キリスト教プログラム

「礼拝」「聖餐式」「聖書の集い」「讃美の集い」などの
定例会集が毎週施設内であり、自由に参加できます。
主日礼拝出席者のために、日本基督教団南山教会から
バスが迎えに来ます。その他、南山教会の「聖書研究
祈禱会」、真向かいにある愛知国際病院の「聖書集会」
にも自由に出席することができます。

交通機関 名鉄豊田線(名古屋市営地下鉄鶴舞線より直通乗り入れ)黒笹駅から900m
東名高速道路・三好ICから3.4Km 日進市公共巡回バス・南山エピック南から200m

提携医療機関 医療法人財団愛泉会愛知国際病院(内科、外科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、胃腸科、
神経内科、肛門科、循環器科、リウマチ科、東洋医学科)、武田歯科医院、たかはし眼科

類型及び表示事項 施設の類型/介護付有料老人ホーム(一部住宅型) 居室の権利形態/利用権方式
介護保険/愛知県指定特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護
入居時の要件/60才以上で入居時自立及び要支援の方
介護居室区分/個室及び二人部屋 介護にかかわる職員体制/2:1以上

入居一時金 1人部屋/1500万円(22.05m²)
2人部屋/2200万円(32.76m²) 返還金制度あり

管理費 1人部屋/ 85,000円/月 ■管理費に含まれないサービス:
2人部屋/130,000円/月 居室にかかる電気代・電話代の実費、介護保険の
(税別) 自己負担分、医療費、介護保険で充当できない介助、
個別的な要望によるサービス、エアコンレンタル料。

食費 47,610円/月(税別)。3食30日分の料金です。
召し上がらなかった場合はいただきません。



お問い合わせ先

(宗)日本基督教団 愛知老人コミュニティーセンター シルバーホーム「まきば」

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-88

TEL.0561-74-5548 FAX.0561-74-5561 <http://www.mb.ccnw.ne.jp/makiba>

編集後記

以前、私がこの編集後記を書いたのは「まきば」が日本一になった時でした。
今は? …今年の教区総会の席上施設長は、「あれから有料老人ホームランキングは
発表されていないので、その意味では「まきば」は今だに日本一です」と報告して
笑いを誘いました。それはともかく「老人ホームランキング」の「評価条件」のひと
つに「職員の離職率」というのがあります。今回は前回よりもう少し踏み込んで、
「まきば」の職員が日本一にあたるというのはどうしてか? という視点で編集して
みました。

「まきば」は職員の離職率が低いそうです。一般に福祉関係の給料は安く、しかも
仕事はきついのだから当然離職率は高いと思われます。では「まきば」は特別給料がい
い? のではないそうです。仕事が楽? なのでもないそうです。ではどうして? この
25号「まきば通信」をご覧ください。納得いただけたらと思っています。(久美江)

